

## トピックス

### ■岡山市とコンベンションの誘致・開催における連携・協力に関する協定を締結

本学と岡山市は7月22日、「コンベンションの誘致・開催における連携・協力に関する協定」を締結しました。大学と市が連携することで、より多くのコンベンションの開催による交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋がっていきます。

調印式は、岡山市役所で開かれ、森田潔学長、大森雅夫市長、本学教職員ら約30人が出席。森田学長は、「この協定締結は、学都構想の実現に繋がっており、連携・協力し、人が集まる学会を数多く開催していきたい」とあいさつしました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix\\_id353.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id353.html)



### ■日本学術振興会「平成27年度新学術領域研究（研究領域提案型）」に採択

独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業の一つである「平成27年度新学術領域研究（研究領域提案型）」に、本学が計画研究機関として採択されました。

同事業は研究者や研究者グループから提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について、共同研究や研究人材の育成等の取り組みを通じて発展させることを目的とするものです。自然科学研究科（理）の野原実教授らが、計画研究代表として、「J-Physics：多極子伝導系の物理」という課題に参画。5年の事業期間に新しい超伝導体の発見や高性能熱電材料の開発につながる研究開発を進める予定です。参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4753.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4753.html)

### ■医歯薬融合型教育研究棟が完成



医歯薬学総合研究科（鹿田キャンパス）の医歯薬融合型教育研究棟が完成し、7月3日、オープニングセレモニーを開催しました。

医歯薬融合型教育研究棟は医・歯・薬学の専門知識を集結した学際的研究・教育施設として新設。7階建て（延べ床面積7,725平方メートル 建築面積1,494平方メートル）の建物には、法医学解剖関係施設、共同実験室、医歯薬各分野の研究室・演習室やチーム医療シミュレーション教育、臨床能力のスキルアップのための設備を整備した医療教育統合開発センター等を配置しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4739.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4739.html)

## 最近の大学の取組

### ■次世代認定マーク「新くるみん」を取得

本学は、労働者の仕事と子育ての両立を積極的に支援する企業の証として、次世代認定マーク「新くるみん」を取得しました。平成22年度の認定に続き、二度目の認定です。

本学ダイバーシティ推進本部は、次世代育成支援対策推進法に基づき、第IV期一般事業主行動計画（平成25年4月～平成27年3月）を策定。「研究と家庭の両立支援」に関するニーズ調査、両立支援制度に関するリーフレットの作成、学童保育施設「かいのき児童クラブ」や病児・病後児保育施設「ますかつと病児保育ルーム」、乳幼児保育施設「なかよし園」の保育体制の見直しなどを行いました。今回、同行動計画が、次世代育成支援対策推進法に基づく基準に適合すると認定され、「新くるみん」を取得しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix\\_id351.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id351.html)



## 最近注目の研究

### ■植物がカルシウムイオンを利用して乾燥ストレスに応答する分子機構を解明

環境生命科学研究科（農）の宗正晋太郎助教らの共同研究グループは、植物ホルモンであるアブシジン酸がカルシウム情報伝達を介して気孔閉口を誘導する分子機構を明らかにしました。

本研究成果は、オンライン国際科学誌「eLife」に発表されました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id318.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id318.html)

### ■汚染水から放射性ストロンチウムを吸着・除去し固定化する新技術を開発

自然生命科学研究支援センターの小野俊朗教授、花房直志准教授らの研究グループは、骨と同一成分のヒドロキシアパタイト（HAP）を用いて汚染水から効果的に放射性ストロンチウムを吸着・除去する新規技術を開発しました。さらに、放射性ストロンチウムは HAP に吸着・固定化した後、少量の個体廃棄物として保管廃棄できることを明らかにしました。

本研究成果は、ハンガリー国の国際雑誌「Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry」電子版に公開されました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id320.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id320.html)

### ■人口内生化世代重複シミュレーションモデルを構築

社会文化科学研究科（経）の岡本章教授と自然科学研究科（工）の乃村能成准教授は、「人口内生化世代重複シミュレーションモデル」を構築しました。

本研究では、少子化対策としての育児支援政策が、今後の人口動態に与える影響を定量的に分析できる分析モデルを構築。無限の将来まで見据えて経済学的観点から政策を分析し、さらに政策の政治的な実現可能性も検討しています。参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id321.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id321.html)

## 学生の活躍

### ■ウェイトトレーニング部が全国大会で優勝

本学ウェイトトレーニング部は7月12日、阪南大学（大阪府松原市）で開かれた「第42回全日本学生パワーリフティング選手権大会」で、3年ぶり11度目の総合団体優勝を果たし、文部科学大臣杯を獲得しました。7月24日には、森田潔学長へ報告を行ないました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id4814.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4814.html)



## 行事予定

- ・第1回小児がんフォーラム in 岡山 小児がん経験者の将来を考える  
8月22日（土） 岡山大学 Junko Fukutake Hall
- ・教育改善学生交流フォーラム i\*See2015  
「Let's Think about Globalization! ～学生にとって本当に必要なグローバル化とは～」  
8月27日（木） 岡山大学創立五十周年記念館、一般教育棟

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter [https://twitter.com/okayama\\_uni](https://twitter.com/okayama_uni)
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : [www-adm@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:www-adm@adm.okayama-u.ac.jp)